

125周年プレスリリース - イメージ画像

ボッシュ創業125周年 - Invented for life

WEBサイト「プレスフォーラム」から、125周年プレスリリースに関するイメージ画像をダウンロードできます。
すべての画像は「出典: Bosch」と明記していただける場合にのみ、自由にご利用いただけます。

URL: www.bosch-press.com/125Years/

- ▶ ドイツにおけるボッシュの歴史 P2
- ▶ ボッシュの国際化の歴史 P4
- ▶ 技術開発の歴史 P8
- ▶ 創業者ロバート・ボッシュ P11
- ▶ 125年間の歴代会長 6名 P13
- ▶ 未来に向けた技術 P14

▶ ドイツにおけるボッシュの歴史



▲ 1-AN-16884

1905: ボッシュ初のシフト班長たち



▲ 1-AN-16885

1907: ボッシュの役員たちが路上でテスト走行。左から: グスタフ・クライン (Gustav Klein)、ゴットローブ・ホーノルト (Gottlob Honold)、エルンスト・ウルマー (Ernst Ulmer)、アーノルト・ゼーリンガー (Arnold Zähringer)



▲ 1-AN-16886

1926: 「Bosch-Dienst」(ボッシュ・サービス)のシンボル。「Bosch-Dienst」ランタンとしても知られるこのシンボルは、1926年に商標登録された



▲ 1-AN-16887

1921: ハンブルクにオープンした最初の修理工場。各地に開設されたボッシュ・サービス修理工場が土台となり、顧客サービスネットワークが誕生



▲ 1-AN-16888

1923: 真鍮とアルミニウムのバー材を押し出し加工するフォイヤバツハ鋳造工場の従業員たち



▲ 1-AN-16889

1924: フォイヤバツハのかつてのリップ&ゾーン・ピアノ工場(住棟の向こう)の屋根に目立つように掲げられた「Robert Bosch」の看板



▲ 1-AN-16890

1926: ヘッドライトの図面を引く設計技師たち



▲ 1-AN-16891

1952: 冷蔵庫の組立ラインで働くボッシュ従業員(ギーンゲン工場)



▲ 1-AN-16892

1954: ボッシュ製ウィンドシールドワイパーの映画広告

▶ ドイツにおけるボッシュの歴史



▲ 1-AN-16893

1958: ライプツィヒ春季見本市でブースを飾ったボッシュの自動車関連製品



▲ 1-AN-16894

1955: ユンカースのガス温水器の宣伝ポスター。ボッシュがユンカースのガス器具事業を取得し、新しい市場に参入したのは1932年



▲ 1-AN-16895

1961: シュトゥットガルトのロバート・ボッシュ病院。会社が創業50周年、創業者自身が75回目の誕生日を迎えた1936年に、ロバート・ボッシュは市に病院を寄贈



▲ 1-AN-16896

1970: シュヴィバディンゲンの拠点でボッシュの従業員が電気自動車のコントロールユニットをテスト。当時、ボッシュはすでにプロトタイプを作れるほど電気自動車に関するノウハウを蓄積していたが、車載に適した電池はまだなかった



▲ 1-AN-16897

1978: ロイトリンゲンの半導体工場では、電子制御式ガソリン噴射システム「ジェトロニック」の部品が作られていた。写真は、コントロールユニットの基板に部品を取り付けているところ

▶ ボッシュの国際化の歴史



▲ 1-AN-16898

1905: ロンドンのマグネツ・シムス・ボッシュ社。ドイツ国外に初めて設けられたボッシュの販売代理店は、会社設立初期の数年間において会社の発展に重要な役割を果たした



▲ 1-AN-16899

1906: ニューヨーク市のボッシュ・マグネトー社。1906年から1908年まで、ボッシュの米国販売代理店は西56番街160のビルに入居していた



▲ 1-AN-16900

1910: ロンドンのボッシュ・マグネトー社。写真はこの年の5月に販売代理店をストア街から移転したときの様子を撮影したもの。旧オフィスの窓には、ニューマン街に移転したことを顧客に案内する「お知らせ」が貼られた



▲ 1-AN-16901

1920: ルーマニア／ブカレストの代理店、レオニダ社の営業ルーム



▲ 1-AN-16902

1924: 現地代理店のロボ社によって運営されていたスウェーデン／ストックホルムの販売代理店。アールヌーヴォー風のビルの大きなショーウィンドウに、ボッシュの製品が数多く陳列された



▲ 1-AN-16903

1928: 神戸の販売代理店、イリス商会の前に並ぶボッシュの従業員たち



▲ 1-AN-16904

1930: パリ郊外のサントワンに建てられたラヴァレット・ボッシュ工場の全景



▲ 1-AN-16905

1933: 上海のボッシュ販売代理店



▲ 1-AN-16906

1937: 南アフリカ／ヨハネスブルグでフリードリッヒ・ホパート(Friedrich Hoppert)が経営していたボッシュ販売代理店

▶ ボッシュの国際化の歴史



▲ 1-AN-16907

1938: インドネシアでディーゼル燃料噴射ポンプを抱えて運ぶジャワ人従業員



▲ 1-AN-16908

1939: フィリピン／マニラの活気あるボッシュ装備&修理工場。1930年代にボッシュ・サービスの修理工場ネットワークが大きく発展し、世界中のほとんどの国をカバーするまでになった



▲ 1-AN-16909

1958: 現地法人 Robert Bosch (Pty.) Ltd. が運営したオーストラリア／クレイトン工場のメインエントランス



▲ 1-AN-16910

1958: スペイン／オヴィエドでボッシュのサービスパートナー、エレクトロ・ディーゼル社が設置した看板



▲ 1-AN-16911

1975: ブラジル／カンピーナス工場のディーゼル燃料噴射ポンプ用ノズルの生産現場



▲ 1-AN-16912

1982: インド／バンガロールで製図台に向かうエンジニアたち



▲ 1-AN-16913

1985: 米国／シカゴを走るボッシュ・サービス車両



▲ 1-AN-16914

2008: シンガポールに開設された地域研究開発・先端エンジニアリング・センター。写真は、有機被膜を蒸着形成している様子



▲ 1-AN-16915

2010: 昼食に出かけるインド／バンガロールのボッシュ従業員たち。ここにはインド最大のボッシュ工場があり、インド現地法人の本部も置かれている

▶ ボッシュの国際化の歴史



▲ 1-AN-16916

インド／バンガロールのボッシュ従業員たち。後方のオープンスペースは従業員の打ち合わせの場所。ボッシュ生産システム(BPS)など、会社にとって重要なテーマのプレゼンテーションはここで行われる



▲ 1-AN-16917

インド／バンガロールのボッシュ拠点にある職業訓練センター。技術製図をはじめ、数多くの分野のトレーニングがコンピューターベースで行われている



▲ 1-AN-16918

インド／バンガロールの職業訓練センターで製図技術を学ぶトレーニーたち



▲ 1-AN-16919

低価格車であっても、ボッシュの先端技術を搭載したタタ・ナノ。インド／バンガロールの自動車エンジニアリングセンターの前で撮影



▲ 1-AN-16920

インド現地法人 Robert Bosch Engineering and Business Solutions で働くこの女性従業員は週に1度自分の時間を割き、恵まれない家庭の子供たちに勉強を教えている



▲ 1-AN-16921

インド／バンガロールの路上風景。よく目にするのはこの国特有の三輪車

▶ ボッシュの国際化の歴史



▲ 1-AN-16922

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部で年に1回開かれるキッズ・デー。数多くのボッシュ従業員がこの日は子連れで出社



▲ 1-AN-16923

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: エントランスに設けた展示エリアで、リチウムイオン電池式ドライバーの使い勝手を試す若い女性



▲ 1-AN-16924

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: 2009年に完成したこの社屋は、エコロジー重視設計のビルに与えられる、シンガポールで最も荣誉ある「グリーンマークプラチナ」賞を受賞

▶ 技術開発の歴史



▲ 1-AN-16925

1887: 会社が初めて製品化した定置式ガソリンエンジン用のマグネトー式低圧点火装置。この年に、創業者ロバート・ボッシュは自身最初のマグネトー式低圧点火装置のある機械製造会社のために製作



▲ 1-AN-16926

1897: ボッシュのマグネトー式低圧点火装置を装備したドディオ・ブートン三輪車。ボッシュがマグネトー式低圧点火装置を試験的に初めて取り付けたのがこの車両



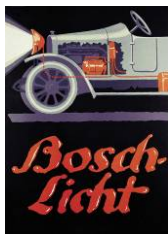
▲ 1-AN-16927

1902: ボッシュ初のマグネトー式高圧点火装置(スパークプラグ付き)



▲ 1-AN-16928

1910: 「レッド・デビル」のポスター。第一次世界大戦前にボッシュが制作した広告ポスターの中で特に有名なものの1つが、「メフィスト」を題材にしたこのポスター



▲ 1-AN-16929

1914: ボッシュの自動車照明システムの広告ポスター。商業アートの先駆けとも言えるこのポスターを手がけたのは、ルシアン・ベルンハルト(Lucian Bernhard)



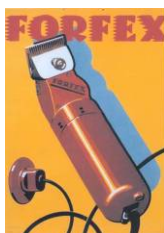
▲ 1-AN-16930

1921: ルシアン・ベルンハルトスタジオが制作したボッシュ・スパークプラグのポスター。ただし、これは下絵。円の中にアンカーを配した、希少のオリジナルワークの1つ



▲ 1-AN-16931

1927: 最初に量産化されたディーゼル燃料噴射ポンプは商用車用だった



▲ 1-AN-16932

1928: ボッシュにとって初の電動工具であるバリカン Forflex も広告ポスターになった



▲ 1-AN-16933

1932: ボッシュ初のポータブル電動ドリル。ハンドルに電気モータを内蔵するという、1928年のバリカン Forflex 以来のアイデアは、コンパクト電動工具の基本になった

▶ 技術開発の歴史



▲ 1-AN-16934

1932: ボッシュのディーゼルポンプを初めて搭載した自動車メーカーは MAN 社で、それは 1927 年のこと。1932 年に MAN は今日に至るまで最強となるディーゼルトラックを発表したが、これにもボッシュの燃料噴射システムが搭載されていた。



▲ 1-AN-16935

1933: ライプツィヒ春季見本市で、ボッシュは会社にとって初となる冷蔵庫を発表。こうしてボッシュは家庭用電化製品分野で最初の一步を踏み出した。



▲ 1-AN-16936

1952: ボッシュがモダンな主婦向けにデザインしたフードプロセッサ「Neuzeit I」。Neuzeit はドイツ語で「新しい時代」の意味



▲ 1-AN-16937

1952: ゲートブロート・スペリオールの広告リーフレット。これはボッシュのガソリン噴射ポンプを最初に装備した車両の 1 つ



▲ 1-AN-16938

1955: ユンカースのガスストーブ「ガシエーター」の広告リーフレットに掲載されたイラスト。居心地の良い、暖かい家庭を連想させる



▲ 1-AN-16939

1960: ボッシュ初の全自動洗濯機。ボッシュが洗濯機の 1 号機を発表したのは 1958 年。その 2 年後には早くも全自動タイプが登場



▲ 1-AN-16940

1967: 市場に登場したフォルクスワーゲン 1600 E。このモデルはボッシュの電子制御式ガソリン噴射システム「D ジェトロニック」を初めて装備した車両



▲ 1-AN-16941

1976: ついに 3 元触媒コンバーターが市場に広く浸透。それを支えたのはボッシュが開発したラムダセンサー。写真は 1989 年の製品



▲ 1-AN-16942

1978: 電子制御式 ABS (アンチロック・ブレーキ・システム) の量産が開始。写真は、ボッシュの ABS の有無がメルセデス・セダンの走行性能にどう影響するかを比較テストしたときの様子

▶ 技術開発の歴史



▲ 1-AN-16943

1986: ボッシュ TCS (トラクションコントロールシステム) の量産が開始。写真は 1990 年、スウェーデン / アリエプログで実施したシステムテストの際に撮影



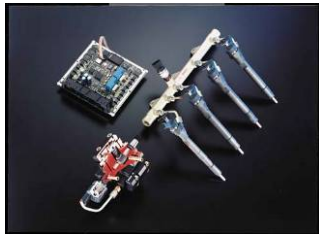
▲ 1-AN-16944

1989: ヨーロッパ初のカーナビゲーションシステム「TravelPilot IDS」を発表。1995 年には、衛星経由のルートガイダンスと音声出力機能が付いた後継モデルが市場に登場



▲ 1-AN-16945

1995: ESC (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール) が世界初公開。写真は開発段階のテスト走行の様子。1997 年までに、このシステムは車両ダイナミクスコントロールとして広く知られるようになった



▲ 1-AN-16946

1997: 世界初の量産型コモンレール燃料噴射システムを発表。このシステムを最初に搭載したのは、アルファロメオ 156 jtd とメルセデス・ベンツ C 220 CDI



▲ 1-AN-16947

2003: リチウムイオン電池式 Ixo ドリル / ドライバーを発表。この製品は今やポータブル電動工具の世界的ベストセラー。写真は 2009 年に導入された最新モデル



▲ 1-AN-16948

2005: ボッシュ・ナイトビジョンシステム。赤外線カメラを使うことにより、普通のヘッドライトとは比べものにならないほど夜間でもドライバーの視界が広がる



▲ 1-AN-16949

2010: ボッシュ衝突予知緊急ブレーキシステムの生産を開始。このシステムは危険な状況をドライバーに警告するだけでなく、衝突を避けるために自動的にブレーキをきかせる



▲ 1-AN-16950

2010: エンジンスピードと加速度を同時に測定するボッシュ SMI540 センサー。この機能を使用すれば、機能を拡張した新しい ESC (エレクトロニック・スタビリティ・コントロール) を実現できる可能性がある

▶ 創業者ロバート・ボッシュ



▲ 1-AN-16951

ロバート・ボッシュの生家。創業者はウルム市郊外、アルベック村にある「クローネ」旅館で1861年に生まれた(写真は1931年に撮影)



▲ 1-AN-16952

1879:ロバート・ボッシュに交付された徒弟修業の修了証



▲ 1-AN-16953

1886:中庭に通じる出入り口のある建物に設けられた、ロバート・ボッシュの最初の作業場。この建物はシュトゥットガルトのローテビュール通り75Bにあった(ペンとインキによるスケッチを写真技術を使って複製)



▲ 1-AN-16954

ロバート・ボッシュ、1886年



▲ 1-AN-16955

1888:シュトゥットガルトに「精密機械と電気技術作業場」を開設してから2年後のロバート・ボッシュ



▲ 1-AN-16956

1890:顧客のもとに素早く駆けつける手段として自転車を愛用したロバート・ボッシュ。自転車がまだ珍しかった頃の話



▲ 1-AN-16957

ロバート・ボッシュ社が発行した、現存する最古の請求書。日付は1891年6月11日となっている



▲ 1-AN-16958

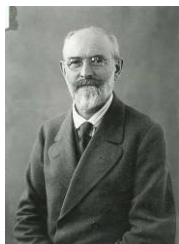
ロバート・ボッシュ社の作業場規則(1906年7月16日付け)。8時間労働制の導入が明記されている



▲ 1-AN-16960

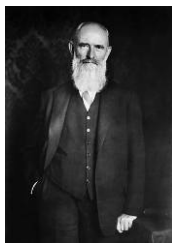
1910:シュトゥットガルトのホッペンラウ通りに建設された初の自社工場

▶ 創業者ロバート・ボッシュ



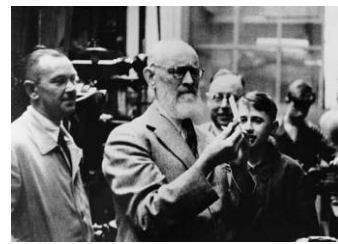
▲ 1-AN-16961

ロバート・ボッシュ、1925年



▲ 1-AN-16962

1931年に70歳を迎えたロバート・ボッシュ。この頃、ロバート・ボッシュは母国ドイツだけにとどまらず、世界的に名が広く知られるようになった



▲ 1-AN-16963

1936: トレーニーの仕事ぶりをチェックするロバート・ボッシュ。ロバート・ボッシュは職業訓練を重視し、1913年には早くも社内にトレーニー訓練部門を設置



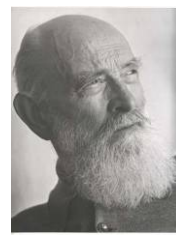
▲ 1-AN-16964

1936: ロバート・ボッシュ(写真: 前列中央)とフォイヤバツハ工場の従業員たち。ウルム市内のレストランの前で撮影



▲ 1-AN-16965

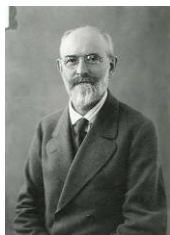
1940: ロバート・ボッシュ病院の開院式に出席したロバート・ボッシュ。左から: シュトゥットガルト市長のカール・シュトラーリン(Karl Strölin)、ルートヴィヒ・シュヴァイツァー(Ludwig Schweizer)、ロバート・ボッシュ、建築家のパウル・ハーン(Paul Hahn)、シュトゥットガルト市議会の議員たち



▲ 1-AN-16966

ロバート・ボッシュ、1941年。

▶ 125年間の歴代会長 6名



▲ 1-AN-16967

ロバート・ボッシュ、1925年。



▲ 1-AN-16968

ハンス・ヴァルト:1953年から1963年までロバート・ボッシュ GmbH の取締役会会長に就任



▲ 1-AN-16969

Prof. Dr. phil. h. c. ハンス L.メルケレ:1963年から1984年までロバート・ボッシュ GmbH の取締役会会長に就任



▲ 1-AN-16970

Prof. e. h. Dr. phil. Dr. rer. oec. h. c. マルクス・ビーリッヒ:1984年から1993年までロバート・ボッシュ GmbH の取締役会会長に就任



▲ 1-AN-16971

Prof. Dr.-Ing. ヘルマン・ショル:1993年から2003年までロバート・ボッシュ GmbH の取締役会会長に就任。2000年にロバート・ボッシュ工業信託合資会社(RBIK)の株主総会議長、さらに2003年にロバート・ボッシュ GmbH の監査役会会長に就任し、今日に至る



▲ 1-AN-16972

フランツ・フェーレンバッハ:2003年にロバート・ボッシュ GmbH の取締役会会長に就任し、今日に至る

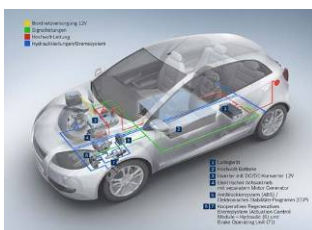
▶ 未来に向けた技術

自動車分野の革新技術



▲ 1-AN-16973

電気自動車: エネルギー効率に優れたモビリティのビジョン



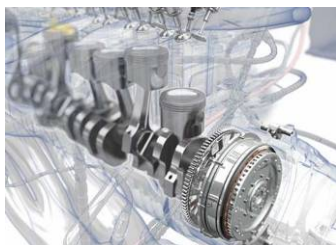
▲ 1-AN-16974

ボッシュはあらゆるタイプの電気自動車向けに各種コンポーネントを開発



▲ 1-AN-16975

ボッシュはハイブリッド車とオール電化車両向けのソリューションを提供。写真は、そうした目的のために開発された電気モーター



▲ 1-AN-16976

ボッシュはハイブリッド車のパワートレインに組み込む、高効率・高性能の電気モーターを開発



▲ 1-AN-16977

シュトゥットガルトのフォイヤバツハ工場で自動車用リチウムイオン電池システムをテストする従業員



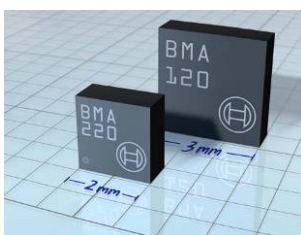
▲ 1-AN-16978

ロイトリンゲンに完成した新しいウエハー工場。6億ユーロの総工費は、単一案件としてはボッシュ・グループとして過去最大規模の投資



▲ 1-AN-16979

ボッシュは自動車用 MEMS センサーのさらなる小型化と高性能化を目指し、材質とプロセスの継続的な改善に取り組んでいる



▲ 1-AN-16980

ボッシュ・センサーテック BMA220 デジタルセンサーは、世界最小のデジタル加速度センサー。わずか 2 mm × 2 mm × 0.98 mm の LGA パッケージに収まるほどのサイズ



▲ 1-AN-16981

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: 電気自動車用充電スポットのプロトタイプを前で話し合う、ボッシュ・ソフトウェア・イノベーションの従業員たち

▶ 未来に向けた技術

風と太陽から再生可能エネルギーを獲得



▲ 1-AN-16982

Bosch Rexroth の発電機用ギヤボックスがローターブレードの回転を電力に変換(メンテナンス用開口部カバーを開き、下から撮影)
(写真: Bosch Rexroth)



▲ 1-AN-16983

Bosch Rexroth のドイツ/ヴィンテン工場での風力タービン用ギヤボックスの平歯車ステージを組み立てる従業員



▲ 1-AN-16984

ボッシュの発電機用ギヤボックスがローターブレードの回転を電力に変換。写真は、発電機用ギヤボックスのうち、下半分のハウジングに収まっている部分



▲ 1-AN-16985

Bosch Rexroth のドイツ/ニュルンベルク工場では、風力タービンのプラネタリーギヤ表面の硬度を高めるために追加処理を施している。鋼材の炭素含有量を上げるために、こうした処理が必要となる



▲ 1-AN-16986

太陽の動きを自動的に追尾するソーラーシステム。ソーラーパネルには Bosch Solar Energy が製造する結晶モジュールが使用されている



▲ 1-AN-16987

2つの工程の間でソーラーセルをチェックする Bosch Solar Energy の従業員

▶ 未来に向けた技術

風と太陽から再生可能エネルギーを獲得



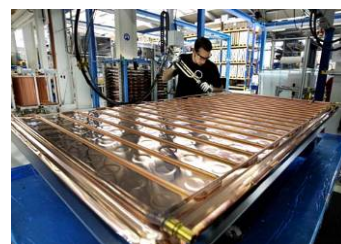
▲ 1-AN-16988

亜硝酸塩コーティング: ウエハをコンテナ(「ウエハポート」)に挿入するロボットアーム。水平炉で亜硝酸塩コーティングを施すための準備をしているところ(ドイツ/アルンシュタットの工場にて)



▲ 1-AN-16989

Bosch Solar Energy のドイツ/アルンシュタット工場で完成した単結晶シリコンインゴットのサイズをチェックする従業員



▲ 1-AN-16990

ボッシュ・サーモ・テクノロジー事業部は、ソーラーコレクターをドイツ/ヴェットリンゲン(写真)とポルトガル/アベイロで生産



▲ 1-AN-16991

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: 建物の電力需要をカバーするために、屋上に Bosch Solar Energy のソーラー発電モジュールが 400 基以上設置されている。写真は薄膜モジュール



▲ 1-AN-16992

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: メインビルの屋上に敷き詰められた単結晶ソーラー発電モジュール



▲ 1-AN-16993

シンガポールのボッシュ東南アジア地域本部: 研究ラボの「グローブボックス」で有機ソーラー発電セルを製造

▶ 未来に向けた技術

風と太陽から再生可能エネルギーを獲得



▲ 1-AN-16994

シンガポールのボッシュ東南アジア
地域本部:有機ソーラー発電セルを
製造している研究ラボ



▲ 1-AN-16995

シンガポールのボッシュ東南アジア
地域本部:有機ソーラー発電セル
を製造している研究ラボの「イエ
ロールーム」で働く従業員たち